



## 平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年8月6日

上場取引所 東

上場会社名 テルモ株式会社  
 コード番号 4543 URL <http://www.terumo.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長 (氏名) 新宅 祐太郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 広報室長 (氏名) 丸田 正行 TEL 03-6742-8550  
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月7日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有  
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	114,945	3.5	16,114	20.9	14,449	11.7	8,394	△6.3
26年3月期第1四半期	111,090	15.9	13,329	△13.9	12,940	△0.3	8,956	9.8

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 3,717百万円 (△86.7%) 26年3月期第1四半期 27,849百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	22.11	22.10
26年3月期第1四半期	23.58	—

(注) 当社は、平成26年4月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。このため、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」につきましては、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第1四半期	812,659	496,718	61.1	1,307.95
26年3月期	832,814	496,245	59.6	1,306.72

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 496,689百万円 26年3月期 496,225百万円

(注) 当社は、平成26年4月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。このため、「1株当たり純資産」につきましては、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	29.00	—	29.00	58.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	14.50	—	14.50	29.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

当社は、平成26年4月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。平成27年3月期(予想)における配当金につきましては、当該株式分割を考慮した額を記載しております。

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	236,000	4.4	28,000	△8.1	27,000	△8.7	16,000	△17.8	42.13
通期	488,000	4.4	64,000	△2.0	62,000	△2.8	37,500	10.0	98.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

・年間想定レート；1ドル=100円、1ユーロ=140円

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 一社 （社名）一、除外 一社 （社名）一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、[添付資料]5ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期1Q	379,760,520株	26年3月期	379,760,520株
② 期末自己株式数	27年3月期1Q	14,289株	26年3月期	11,324株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期1Q	379,746,356株	26年3月期1Q	379,754,328株

(注) 当社は、平成26年4月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数（普通株式）を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項は、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	5
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	5
3. 四半期連結財務諸表 .....	6
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	8
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	8
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(セグメント情報等) .....	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間（平成26年4月1日から平成26年6月30日まで）における医療市場を概観すれば、日本において、診療報酬改定および薬価・公定価改定が行われ、消費税率の引き上げも実施されました。また、「日本再興戦略」で医療が重要産業と位置づけられている中、「健康・医療戦略推進法」、「日本医療研究開発機構法」等が成立し、法整備が着々と進みました。6月には「日本再興戦略」改訂2014が閣議決定され、保険外併用療養費制度（いわゆる「混合診療」）の拡大等、規制緩和策も盛り込まれ、今後市場へ影響を及ぼすと予想されます。このような環境の下、当社グループでは「世界で存在感のある企業になる」という目標を掲げ、中期経営計画を推進しています。各事業における主な取り組みは以下の通りです。

- 心臓血管カンパニーは、国内ではPTCA拡張カテーテル「Hiryu Plus」（ヒリュウプラス）や、ニューロバスキュラー製品を拡大しました。海外では主に北米でのTRI（手首の血管から冠動脈にアプローチするカテーテル手技）関連製品が好調に推移しました。6月には薬剤溶出型ステント「Ultimaster」を欧州で販売を開始しました。
- ホスピタルカンパニーは、医療安全へのニーズの高まりが続く中、抗がん剤等の薬剤曝露防止対策に使う閉鎖式抗がん剤投与システム「ケモセーフ」の品種を拡充しました。生産に関しては製品の海外移管を進めるなど、収益改善を図りました。
- 血液システムカンパニーでは、引き続き厳しい市場環境が続いていますが、治療アフェレシス分野で売上を伸ばしました。また、中南米、アジアの新興国市場では輸血需要の高まりもあり、全血採血関連および成分採血システム製品が引き続き堅調でした。

当第1四半期連結会計期間より、カンパニー経営の進化に伴い、従来の報告セグメントである「心臓血管事業」「ホスピタル事業」「血液システム事業」をそれぞれ「心臓血管カンパニー」「ホスピタルカンパニー」「血液システムカンパニー」に名称変更しております。なお、当該セグメントの名称変更によるセグメント情報に与える影響はありません。

当第1四半期連結累計期間の業績は次の通りです。

<売上高>

売上高は、前年同期比3.5%増の1,149億円となりました。

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	伸長率 (%)	為替影響等除く 伸長率 (%)
売上高	111,090	114,945	3.5	0.6
売上総利益	56,990	60,706	6.5	2.3
営業利益	13,329	16,114	20.9	11.8
経常利益	12,940	14,449	11.7	—
四半期純利益	8,956	8,394	△6.3	—

(単位：百万円)

地域別売上高	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	伸長率 (%)	為替影響除く 伸長率 (%)
日本	45,682	43,414	△5.0	△5.0
欧州	22,886	26,033	13.8	4.8
米州	26,460	28,403	7.3	4.2
アジア他	16,062	17,094	6.4	4.6
海外計	65,408	71,531	9.4	4.5
合計	111,090	114,945	3.5	0.6

国内では、主に心臓血管カンパニーとホスピタルカンパニーにおける薬価・公定価改定の影響により、前年同期比5.0%減の434億円となりました。一方、海外では北米を中心にカテーテルシステムが引き続き好調に推移したことに加え、新興国での血液システムカンパニーの伸長と、円安効果もあり、売上高は前年同期比9.4%増の715億円となりました。

<売上総利益>

売上総利益は、日本での薬価・公定価改定の影響がありましたが、国内外での高付加価値品の拡大と生産性改善に努めた結果、前年同期比6.5%増の607億円となりました。

<営業利益>

営業利益は、一般管理費は増加したものの高収益品の売上拡大や生産性改善による売上総利益増加もあり、前年同期比20.9%増の161億円となりました。

<経常利益>

経常利益は、営業利益の増加を受け、前年同期比11.7%増の144億円となりました。

<四半期純利益>

四半期純利益は、前年同期比6.3%減の84億円となりました。

事業セグメント別の売上高の状況は以下の通りです。

なお、前第1四半期連結累計期間の調整額は、平成25年3月期に事業譲渡した在宅酸素・輸液ポンプ事業及び、平成26年3月期に戦略的提携を行った次世代型補助人工心臓システム等に関わる売上高であります。

(単位：百万円)

事業セグメントの名称		前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	伸長率 (%)	為替影響除く 伸長率 (%)
心臓血管カンパニー	売上高	50,108	54,528	8.8	4.7
	(国内)	12,106	11,757	△2.9	△2.9
	(海外)	38,002	42,770	12.5	7.1
ホスピタルカンパニー	売上高	39,446	38,005	△3.7	△4.4
	(国内)	30,702	28,916	△5.8	△5.8
	(海外)	8,743	9,088	3.9	0.4
血液システムカンパニー	売上高	21,520	22,411	4.1	0.6
	(国内)	2,873	2,740	△4.6	△4.6
	(海外)	18,646	19,671	5.5	1.4
調整額	売上高	14	—	△100.0	△100.0
	(国内)	△1	—	—	—
	(海外)	16	—	△100.0	△100.0

<心臓血管カンパニー>

国内では、前期に販売を開始したニューロバスキュラー事業の新製品が好調でしたが、公定価改定の影響を受け減収となりました。海外では欧米を中心にカテーテルシステムが堅調で、ニューロバスキュラー事業も各地域で大きく伸長しました。

その結果、心臓血管カンパニーの売上高は前年同期比8.8%増の545億円となりました。

<ホスピタルカンパニー>

国内では、薬価引き下げの影響や、血糖測定システムなどが消費税増税による需要の反動減もあり、前年同期比5.8%の減収となりました。一方、海外では欧州、アジアで基盤医療器製品を中心に売上を伸ばし、増収となりました。

その結果、ホスピタルカンパニーの売上高は前年同期比3.7%減の380億円となりました。

<血液システムカンパニー>

国内では、顧客のITシステム変更等に伴う一時的な需要調整もあり、減収となりました。海外では欧米での治療アフェリシス分野、新興国では各製品群が堅調に推移しました。

その結果、血液システムカンパニーの売上高は前年同期比4.1%増の224億円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べ202億円減少して8,127億円となりました。

流動資産は現金及び預金の減少、為替影響等により、151億円減少して2,959億円となりました。

固定資産は55億円減少して5,149億円となりました。有形固定資産は21億円増加、無形固定資産は89億円減少、投資その他の資産は13億円増加となりました。

(負債)

負債の部は206億円減少して3,159億円となりました。

流動負債は未払法人税等の支払による減少等により、215億円減少して1,395億円となりました。

固定負債は長期借入金の増加等により、8億円増加して1,765億円となりました。

(純資産)

純資産の部は、5億円増加して4,967億円となりました。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末と比べ1.5ポイント増加し、61.1%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

医療機器市場を取り巻く環境変化など、今後も不透明な状況が続きますが、連結業績予想について変更はありません。

当社グループは、このような厳しい事業環境の中、目標を達成するため、医療経済性の向上に貢献できる高付加価値製品の導入、さらなる製造コストダウンへの取り組みや徹底した販管費の効率運用などに努めてまいります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（退職給付に関する会計基準等の適用）

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法についても、従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から退職給付の支払見込期間ごとに設定された複数の割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る資産が3,509百万円増加し、利益剰余金が2,258百万円増加しております。また、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ158百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	95,618	85,030
受取手形及び売掛金	101,520	97,397
たな卸資産	93,966	95,612
繰延税金資産	12,340	8,909
その他	8,933	10,323
貸倒引当金	△1,394	△1,358
流動資産合計	310,985	295,915
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	54,215	53,083
機械装置及び運搬具（純額）	43,916	43,087
土地	21,757	21,672
リース資産（純額）	406	809
建設仮勘定	27,974	31,828
その他（純額）	9,483	9,370
有形固定資産合計	157,755	159,851
無形固定資産		
のれん	154,161	149,538
顧客関連資産	93,968	91,183
その他	56,626	55,144
無形固定資産合計	304,756	295,866
投資その他の資産		
投資有価証券	37,954	39,103
繰延税金資産	5,323	2,287
退職給付に係る資産	2,573	5,800
その他	11,969	11,949
投資その他の資産合計	57,820	59,140
固定資産合計	520,332	514,858
繰延資産		
繰延資産合計	1,496	1,885
資産合計	832,814	812,659

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	38,147	36,392
短期借入金	260	4,256
1年内返済予定の長期借入金	4,652	4,573
リース債務	225	197
1年内償還予定の社債	40,000	40,000
未払法人税等	18,401	3,372
繰延税金負債	94	4
賞与引当金	4,849	2,622
役員賞与引当金	109	27
設備関係支払手形及び未払金	8,425	7,271
その他	45,769	40,759
流動負債合計	160,936	139,477
固定負債		
社債	40,000	40,000
長期借入金	76,769	79,146
リース債務	299	281
繰延税金負債	47,795	45,148
役員退職慰労引当金	66	66
退職給付に係る負債	3,124	3,786
資産除去債務	220	219
その他	7,354	7,814
固定負債合計	175,632	176,463
負債合計	336,568	315,941
純資産の部		
株主資本		
資本金	38,716	38,716
資本剰余金	52,103	52,103
利益剰余金	353,600	358,747
自己株式	△24	△30
株主資本合計	444,396	449,537
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,269	12,224
繰延ヘッジ損益	△2	2
為替換算調整勘定	43,377	37,904
退職給付に係る調整累計額	△2,816	△2,978
その他の包括利益累計額合計	51,828	47,152
新株予約権	20	28
純資産合計	496,245	496,718
負債純資産合計	832,814	812,659

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第1四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自平成25年4月1日 至平成25年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自平成26年4月1日 至平成26年6月30日）
売上高	111,090	114,945
売上原価	54,099	54,238
売上総利益	56,990	60,706
販売費及び一般管理費	43,661	44,591
営業利益	13,329	16,114
営業外収益		
受取利息	82	124
受取配当金	56	64
受取ロイヤリティー	23	17
為替差益	577	—
持分法による投資利益	81	24
その他	144	154
営業外収益合計	966	385
営業外費用		
支払利息	368	300
売上割引	166	172
為替差損	—	773
たな卸資産処分損	43	185
その他	777	618
営業外費用合計	1,355	2,050
経常利益	12,940	14,449
特別利益		
固定資産売却益	6	16
事業譲渡益	262	—
特別利益合計	268	16
特別損失		
固定資産処分損	9	331
減損損失	557	369
役員退職慰労金	33	—
特別損失合計	600	700
税金等調整前四半期純利益	12,608	13,765
法人税、住民税及び事業税	2,370	2,632
法人税等調整額	1,266	2,738
法人税等合計	3,637	5,371
少数株主損益調整前四半期純利益	8,971	8,394
少数株主利益	15	—
四半期純利益	8,956	8,394

（四半期連結包括利益計算書）  
（第1四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	8,971	8,394
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,192	954
繰延ヘッジ損益	△8	4
為替換算調整勘定	15,694	△5,473
退職給付に係る調整額	—	△161
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	△0
その他の包括利益合計	18,877	△4,676
四半期包括利益	27,849	3,717
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	27,857	3,717
少数株主に係る四半期包括利益	△8	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間（自平成25年4月1日至平成25年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	心臓血管 カンパニー	ホスピタル カンパニー	血液システム カンパニー	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	50,108	39,446	21,520	111,075	14	111,090
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	50,108	39,446	21,520	111,075	14	111,090
のれん等償却除くセグ メント利益	9,283	4,785	4,102	18,171	△831	17,340
セグメント利益	8,797	4,785	577	14,160	△831	13,329
のれん等償却除くセグ メント利益率(%)	18.5	12.1	19.1	16.4	—	15.6

(注) 1. セグメント利益の調整額△831百万円には、たな卸資産の調整額△257百万円、その他△574百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「心臓血管カンパニー」セグメントにおいて、収益性が低下した資産グループの帳簿価額を回収可能価額まで減額し、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては557百万円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自平成26年4月1日 至平成26年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	心臓血管 カンパニー	ホスピタル カンパニー	血液システム カンパニー	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	54,528	38,005	22,411	114,945	—	114,945
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	54,528	38,005	22,411	114,945	—	114,945
のれん等償却除くセグ メント利益	11,419	4,570	4,214	20,204	41	20,246
セグメント利益	10,940	4,570	561	16,073	41	16,114
のれん等償却除くセグ メント利益率（%）	20.9	12.0	18.8	17.6	—	17.6

(注) 1. セグメント利益の調整額41百万円には、たな卸資産の調整額△20百万円、その他61百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「心臓血管カンパニー」セグメントにおいて、収益性が低下した資産グループの帳簿価額を回収可能価額まで減額し、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては369百万円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの名称変更)

当第1四半期連結会計期間より、カンパニー経営の進化に伴い、従来の報告セグメントである「心臓血管事業」「ホスピタル事業」「血液システム事業」をそれぞれ「心臓血管カンパニー」「ホスピタルカンパニー」「血液システムカンパニー」に名称変更しております。なお、当該セグメントの名称変更によるセグメント情報に与える影響はありません。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの名称に基づき作成したものを開示しております。

(事業セグメントの利益又は損失の測定方法の変更)

前第4四半期連結会計期間より、平成25年3月期に事業譲渡した在宅酸素・輸液ポンプ事業及び、平成26年3月期に戦略的提携を行った次世代型補助人工心臓システム等に関わる売上高・費用に関して、これらを調整額へ含める方法に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、上記変更後の利益の測定方法により作成したものを開示しております。この変更により従来の方法によった場合に比べ、前第1四半期連結累計期間のセグメント利益が「心臓血管カンパニー」で100百万円増加し、「ホスピタルカンパニー」で2百万円減少し、「調整額」で97百万円減少しております。